



左：実験室で手洗い体験 下：消火体験

2/22

消費者団体施設見学会 防災と食の安全などについて 体験して学びました

埼玉県消費者大会実行委員会参加団体から14人が参加し、施設見学会を実施しました。埼玉県防災学習センターでは災害疑似体験などを通して備えの必要性を実感、コープデリ商品検査センターではセンターの食の安全に関する様々な役割について学び、各団体からの見学受け入れについて案内いただきました。



◀消費者被害防止サポーターに関する事例を会場から報告しました

3/9

消費者問題シンポジウムinさいたま 高齢者の消費者被害防止を メインテーマにシンポジウムを開催

浦和コミュニティセンターにて、埼玉県消費者団体連絡会は内閣府消費者委員会とともに「消費者問題シンポジウムinさいたま」を開催、約80人が参加しました。消費者委員会委員長の高巖さんによる基調講演「消費者委員会の活動と高齢者の消費者被害の防止」、埼玉県の消費者被害の状況や被害防止の取り組みについてシンポジウムを行い、意見交換しました。



2/27

NPO法人埼玉消費者被害をなくす会主催 消費者力アップ学習会Vol.3 正しい広告の見方について学びました

浦和コミュニティセンター第13集会室にて田中誠氏（消費者庁 表示対策課）を講師に迎え学習会を開催し、41人が参加しました。消費者庁表示対策課では、景品表示法、健康増進法、食品表示法、医薬品医療機器法などの関係法令の執行体制が一元化されたことにより、虚偽誇大広告・表示などについて厳正に対処しています。実例をもとに、不当な表示等について説明いただきました。



4/4

第5回活動委員会 2019年度の埼玉県における子どもの貧困 に関する取り組みを学習、交流しました

埼玉県福祉部少子政策課こどもの未来応援担当の内田貴之さんから埼玉県の施策についてお話いただき、各生協の子ども子育て支援の取り組みについて報告し、意見交換をおこないました。今後、埼玉県がよびかける「こども応援ネットワーク埼玉」にも登録し、取り組みをすすめることを確認しました。

埼玉県生活協同組合連合会

写真 ニュース

2019 夏号 No.71



埼玉県マスコット「コバトン」



組合員学習会

県内の農業協同組合の取り組みを報告いただき、協同組合同士交流を深めました

TOP NEWS
3/7

市民会館うらわ（さいたま市浦和区）にて、組合員学習会「聞いて学ぼう 県内農業協同組合のとりのくみ」を開催、3生協28人の組合員とJA埼玉県中央会をはじめとする報告者が参加しました。JA埼玉県中央会「創造的自己改革の実践」、JA埼玉中央「TAC活動報告」、JA南彩「青パパイアの産地化に向けた取り組みについて」報告いただき、質疑応答・交流をしました。参加した組合員からは、同じ協同組合同士、目指す方向が近いと感じた、農協も時代に合わせて変革していることが実感できたなどの感想が寄せられました。



▲JA南彩報告「青パパイアの産地化に向けた取り組みについて」



▲報告を聞いた感想などを交流しました

6/20

埼玉県生活協同組合連合会 第48回通常総会 2019年度事業計画および役員選任など全ての議案が承認されました

さいたま共済会館にて、代議員43人（実出席34、書面出席8）が出席し、開催しました。来賓として、埼玉県県民生活消費生活課課長関口修宏様、埼玉県農業協同組合中央会常務理事小池和明様、埼玉県地域婦人会連合会会長柿沼トミ子様よりごあいさついただきました。次に、岩岡宏保会長理事が第1号議案から第4号議案まで一括提案し、4人の代議員からの発言、議案討議のまとめを経て採決をおこない、全ての議案が承認されました。総会終了後、第1回理事会が開催され、会長理事に吉川尚彦が互選されました。



▲議案提案する岩岡宏保会長理事



▲全議案承認されました



▲第1回理事会報告する吉川尚彦会長理事

広がる県内生協の多彩な活動



生活協同組合コープみらい

コープみらいの食育 「たべる、たいせつ」の 取り組みをすすめています

コープみらいでは、生産者団体やJAの皆さんに協力いただき、吉川市で「田んぼの教室（全2回）」、比企郡川島町で「田んぼのがっこう（全4回）」を開催しています。苗の植え付けから収穫を通じて、食べ物を育てる喜びと苦勞を知り、食べ物を大切に育てる気持ちを育てる取り組みをすすめています。



◀「田んぼの教室・田植え体験」に子ども20人を含む10家族42人が参加しました



▲「田んぼのがっこう・田植え体験」に子ども74人を含む39家族152人が参加しました

生活協同組合パルシステム埼玉

大豆トラスト運動の オリエンテーションを開催

パルシステム埼玉では、組合員が大豆畑の一定区画にお金を出し、生産者とともに国産大豆を作り、できた大豆を食べて大豆の自給率を上げようと、毎年児玉郡神川町の耕作放棄地を利用して大豆トラスト運動に取り組んでいます。

5月9日（木）はる★でらすで、作業計画などを確認するオリエンテーションを開催しました。今年で14年目を迎える大豆トラスト運動。参加者は、これから地元生産者の指導のもと、種まきから草取り、収穫までを協力して行います。



生活クラブ生活協同組合

「はにゅっ米」の田植えを実施

生活クラブ埼玉オリジナルの県産米「はにゅっ米」は、羽生市の8軒の生産農家が「羽生米クラブ」というグループを結成し、栽培しています。農薬の使用削減にも並々ならぬ努力があり2018年産は慣行栽培の4分の1以下、半分以上の農家が無農薬栽培にも取り組んでいます。

組合員の私たちも「my田んぼ」に行きましょと呼びかけ合って、5月11日（土）、約50人が参加して田植えを行いました。農家の皆さんのご指導で順調に苗を田に植えつけました。草取りに来る日にはどれほど育っているか、成長がとても楽しみです。



医療生協さいたま生活協同組合

今年も健康ウオークフェスタを開催しました

4月21日（日）、越谷レイクタウン駅近くの大相模調節池親水公園で、「医療生協さいたま 健康ウオークフェスタ2019」を開催しました。約1000人が家族や仲間といっしょに3kmのコースを歩いて汗を流し、健康チェック・体力チェックを行ったり、ゲームを楽しんだりしました。支部による小物販売、購買生協による試食、マッサージコーナーなども人気でした。

たくさん個人の個人や団体の協力を得ることもでき、地域に広く医療生協さいたまを知っていただく機会になりました。



さいたま住宅生活協同組合

さいたま住宅生協の家「明日家」を普及

「明日家」は、良好な空気環境を大切に、体に優しい素材を使い、内装材にはビニールクロスなど揮発性科学物質を含むものは使用しません。断熱材はセルローズファイバー、複合サッシを使用し、光熱費が抑えられる家です。地震に強い構造で金物にこだわり、自然素材を使った木の家です。

リニューアルしたパンフレットを活用して「明日家」を普及し、SDGsにもつながり、地球環境を守る取り組みとして、改善を目指していきます。



◀リニューアルしたパンフレットを活用し、「明日家（あすか）」を普及します

埼玉県労働者共済生活協同組合

こくみん共済coop<全労済>創立60周年記念 「文化フェスティバル」を開催しました

おかげさまでこくみん共済coop<全労済>は、2017年9月に創立60周年を迎えました。これを記念し、埼玉推進本部では5月11日（土）に「さいたま市民会館おおみや」にて、日頃のご愛顧に感謝を込めて、ミュージカル「文化フェスティバル オズの魔法使い」を開催しました。応募総数1,945組6,285人の中から、当選された311組1,039人のご家族が来場され、公演をお楽しみいただきました。
※2019年6月より全労済は「こくみん共済coop」の愛称を活用しています。



埼玉大学生生活協同組合

初夏の健康祭を開催

初夏の健康祭を埼玉大学内にて、5月14日に第1食堂で、5月15日・16日に第2食堂にて開催しました。新生活に慣れてきた初夏の時期に、生活習慣を見直し、健康を意識するきっかけにしていくことを目的に実施しました。健康祭の内容はアルコールパッチテスト、肺活量測定、お肌チェック、睡眠アプリの紹介、栄養士による食生活についての相談などです。全てを達成すると学生委員会から野菜ジュースをプレゼント。3日間トータルで168人の方に参加いただきました。

